

令和8年度
学校のあり方に関する
アンケート調査結果報告

令和8年9月
米原市教育委員会

I 調査の概要

■ アンケート調査期間

令和8年8月21日（金）から令和8年8月31日（月）まで

■ アンケート対象者

保護者：市内公立こども園、私立こども園・保育園、小中学校

■ アンケート回答方法

米原市電子申請・予約サービス「e-TUMO」によるWEB 回答

■ アンケート依頼方法

- ・公立こども園
Kid'sView（保護者連絡ツール）にて回答URL を送付
- ・私立こども園・保育園
各園の保護者連絡ツールにて回答URL を送付
QR コード付き依頼文を園にて紙媒体で配付
- ・小中学校保護者
tetoru（保護者連絡ツール）にて回答URL を送付

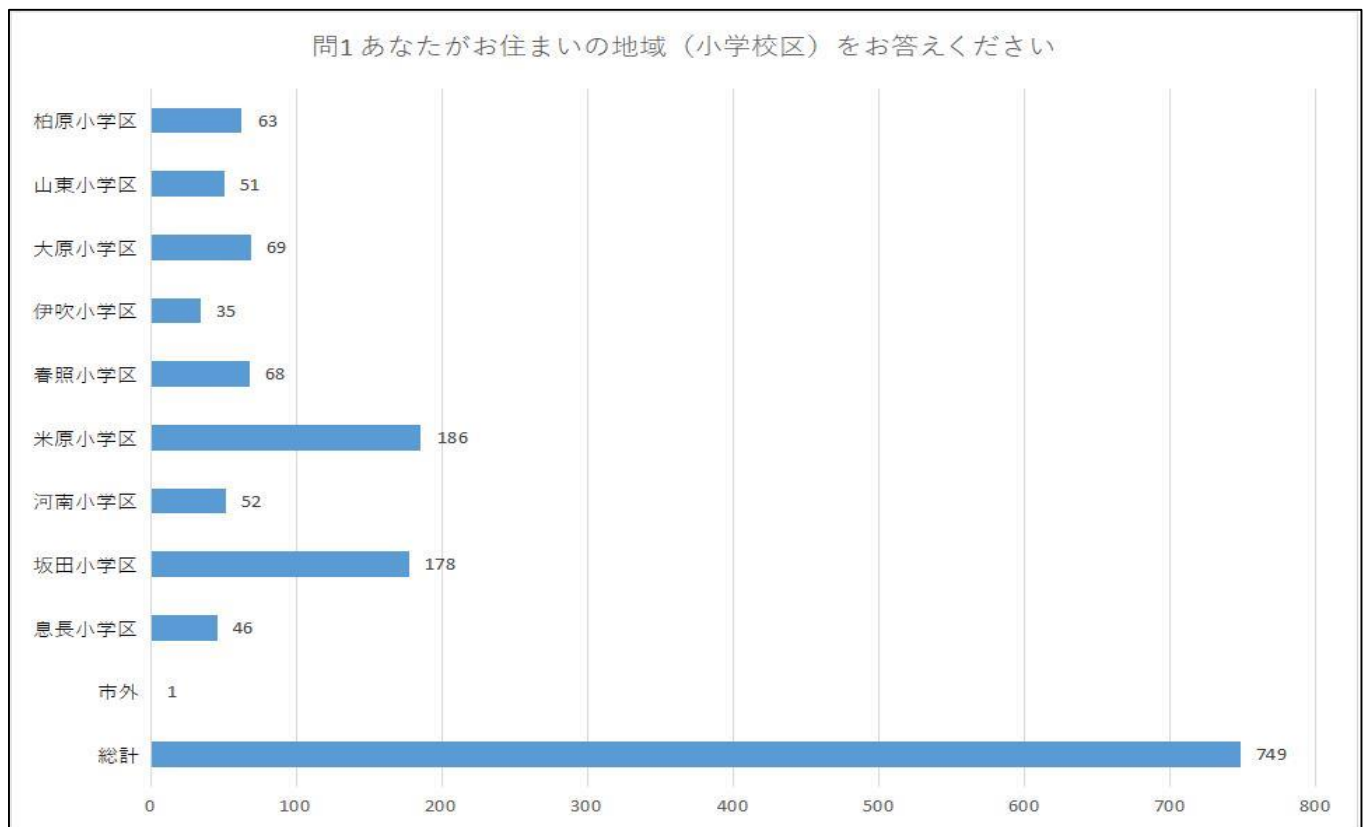
■ アンケート回収状況

対象世帯 約2,300世帯、回答者数 749世帯、回答率 32.6%

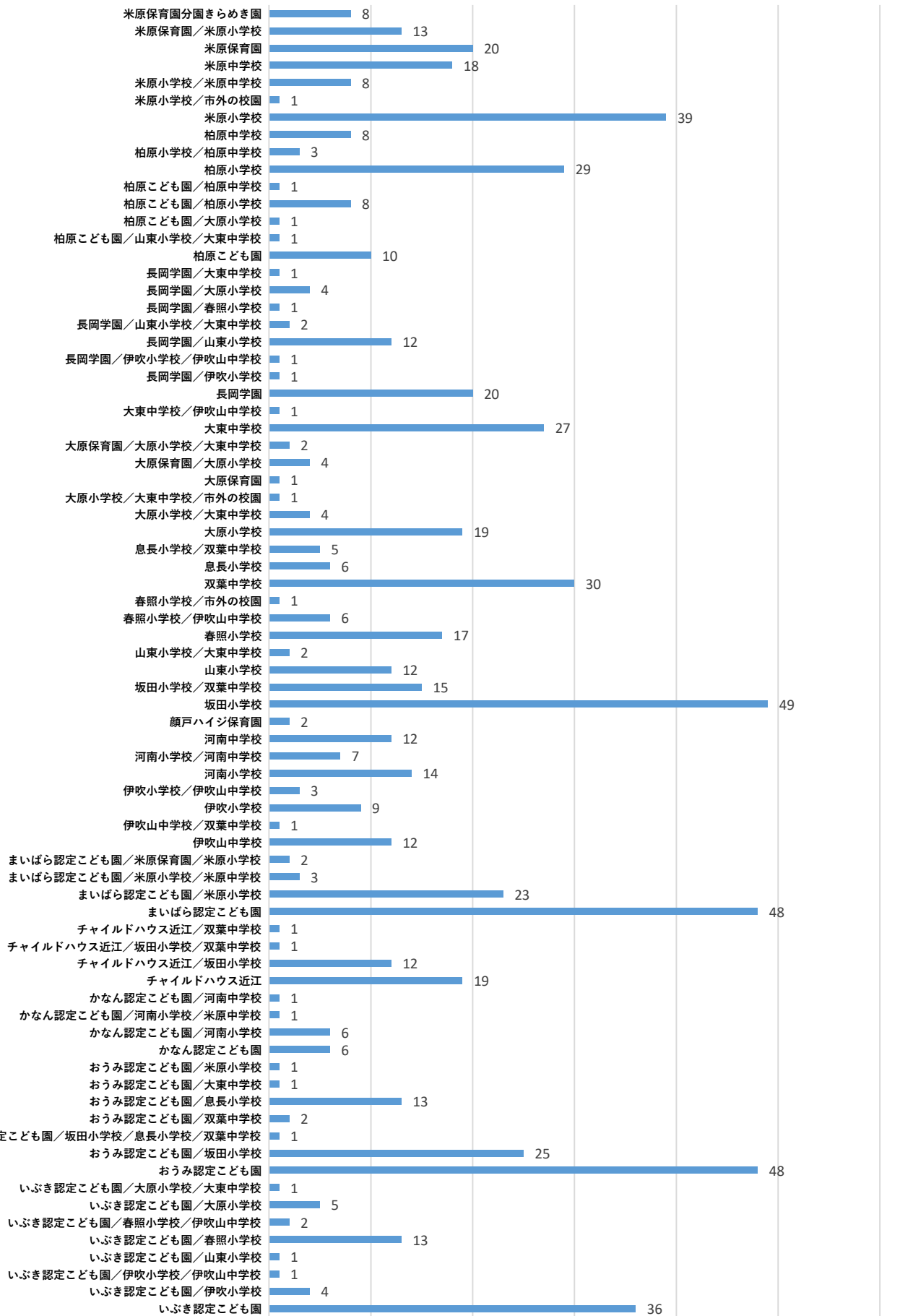
※1世帯1回答としています。

II アンケート集計結果

問1 あなたがお住まいの地域（小学校区）をお答えください。

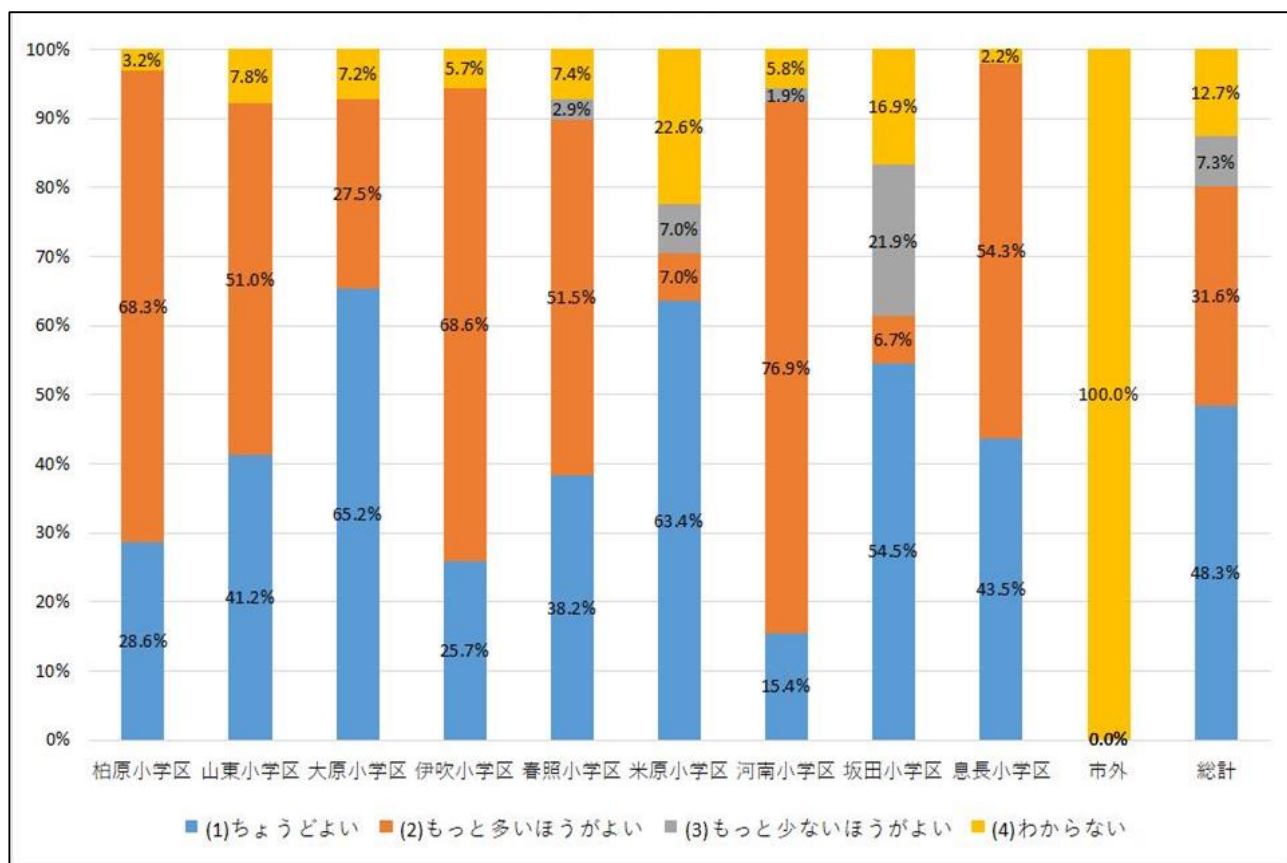


問2 あなたのお子様が通っている園・学校をお答えください。



問3【小学校について】

現在、お子様が通っている小学校の児童数について、どのように感じていますか。

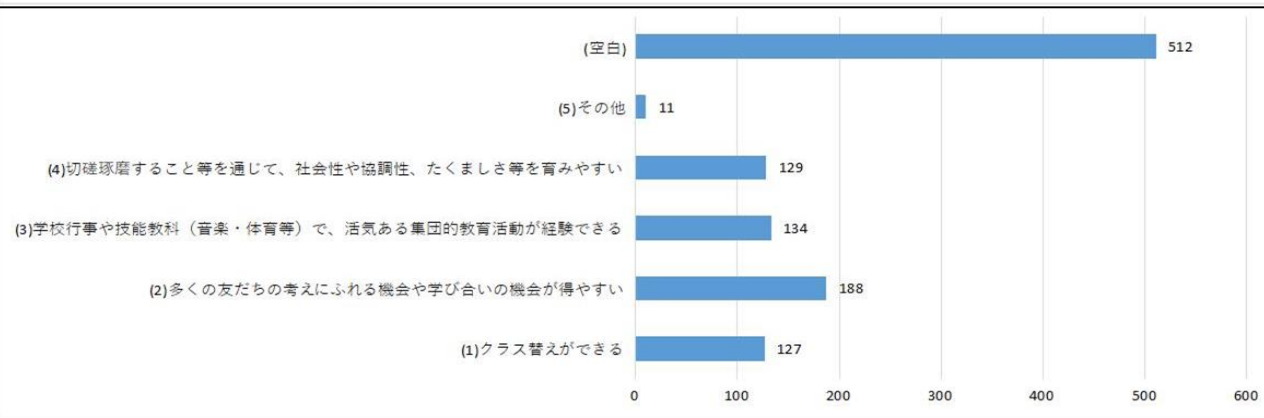
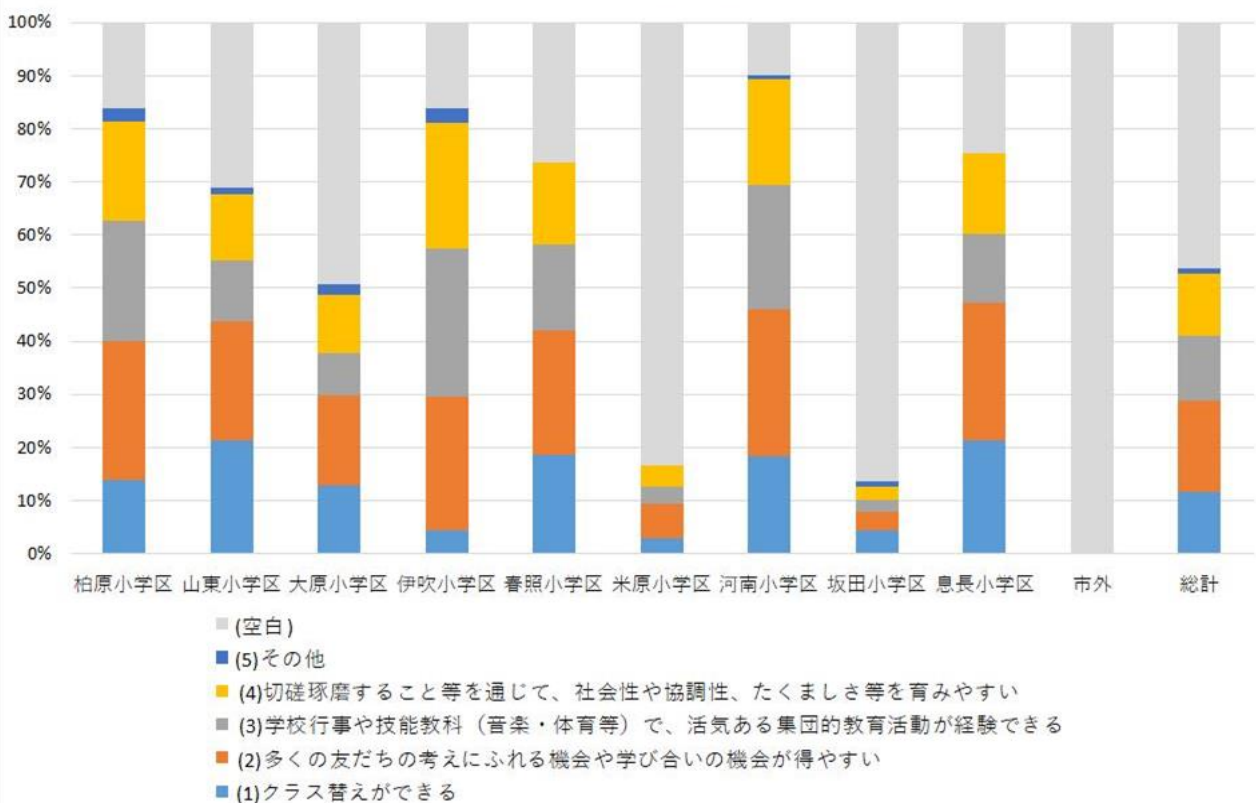


～住んでいる小学校区ごとに占める回答数の割合 上位3地区～

項目	1 位	2 位	3 位
(1)ちょうどよい	大原小学区65.2%	米原小学区63.4%	坂田小学区54.5%
(2)もっと多いほうがよい	河南小学区76.9%	伊吹小学区68.6%	柏原小学区68.3%
(3)もっと少ないほうがよい	坂田小学区21.9%	米原小学区 7.0%	春照小学区 2.9%

問4【小学校について】

問3で「もっと多いほうがよい」と回答した方へ その理由は。 ※複数回答可



～その他の意見～

○人間関係について

- ・万が一、いじめなどが発生した場合、小規模校であれば、中学校卒業まで関係が続く。
- ・少人数の固定化された人間関係はトラブルが起きた時の逃げ場がない。
- ・一学年一クラスは少ない。クラス替えがないと人間関係のトラブルが避けられないと思う。

○学習環境について

- ・2クラスになるため、指導が行き届きやすくなるを感じる。
- ・教員の充実が望める。 ・担任の先生も見人数が多いと目が届かないと思う。
- ・中途半端な人数で2クラスになってしまい1クラスあたりの人数が多くなってしまう。

○部活動について

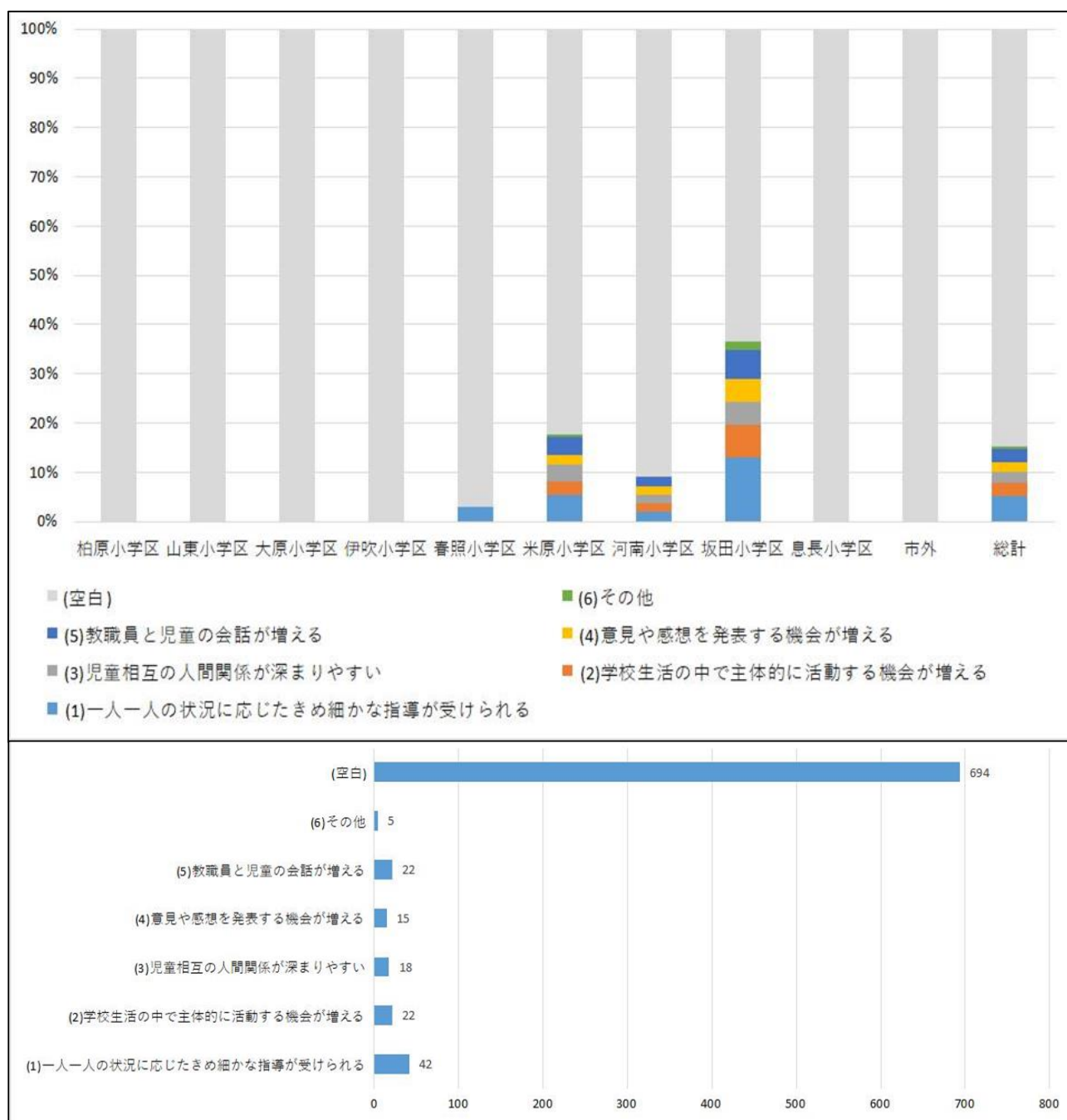
- ・クラブ活動の選択肢が広がる。

○その他

- ・ギリギリ複式学級ではないが今後必ず複式学級レベルの人数になると予想される。複式学級のメリットよりデメリットの方が大きく感じておりかわいそう。
- ・教師や教材等、学校の運営費を減らすことができると思う。
- ・経費の削減。 ・こども園で仲良かった友達と学区が違う事で小学校で離れてしまった。

問5【小学校について】

問3で「もっと少ないほうがよい」と回答した方へ その理由は。 ※複数回答可

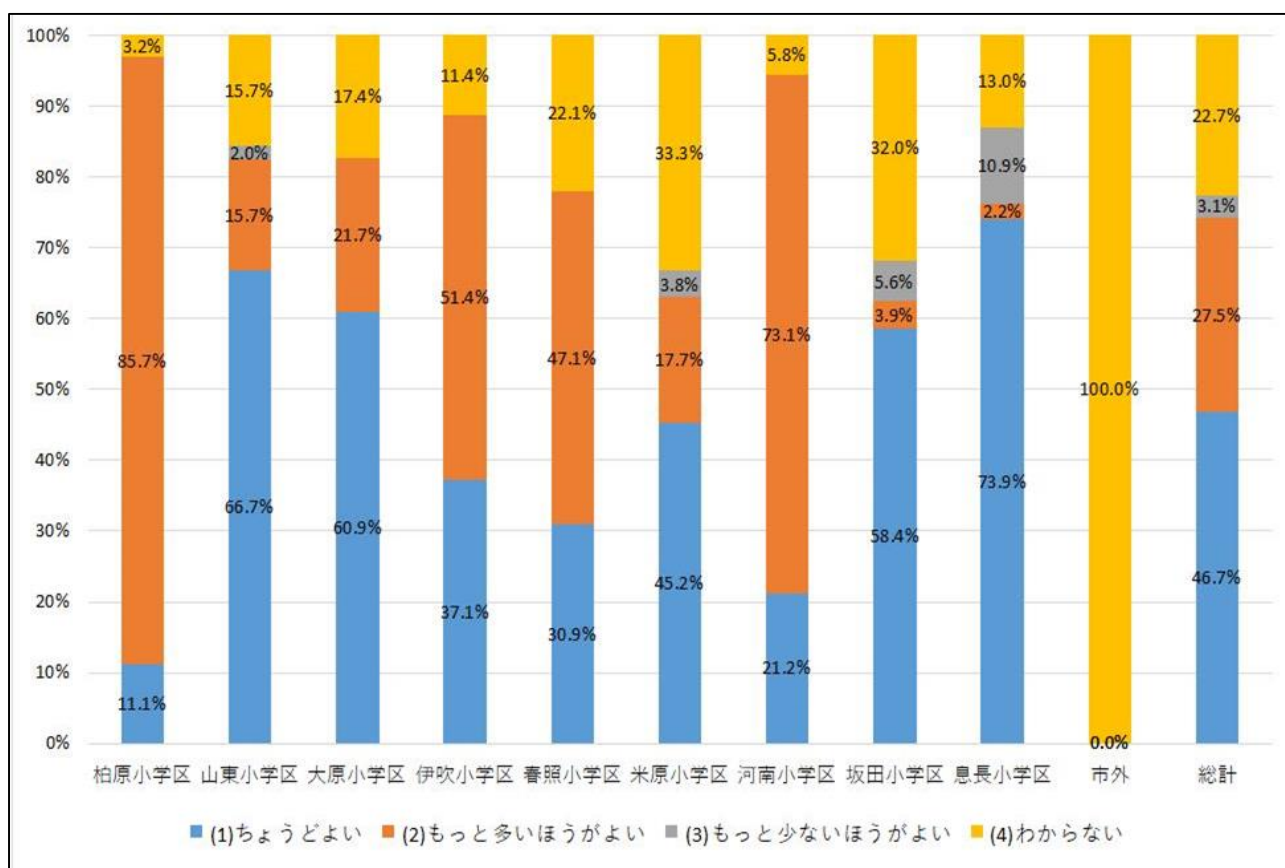


～その他の意見～

- ・感染症の流行を最低限にできる。多いと圧迫感がある。
- ・教室を広く使える。ぎゅうぎゅうでかわいそうです。
- ・良いお友達に巡り会えた場合に限っては少ない方が良いと思うが、そうでなかった場合は、沢山の友達の方が選択肢が増えて良いと思う。子どもの人数は多くとも、教員を増やしてきめ細やかなサポートができるのが望ましいのではないかと考えている。
- ・登下校で交差点の信号待ちで渋滞が起こる。この暑さの中、子どもが顔戸から歩くのは遠いと思う。
- ・大勢の人が苦手なため。

問6【中学校について】

現在、お子様が通っている中学校の生徒数について、どのように感じていますか。

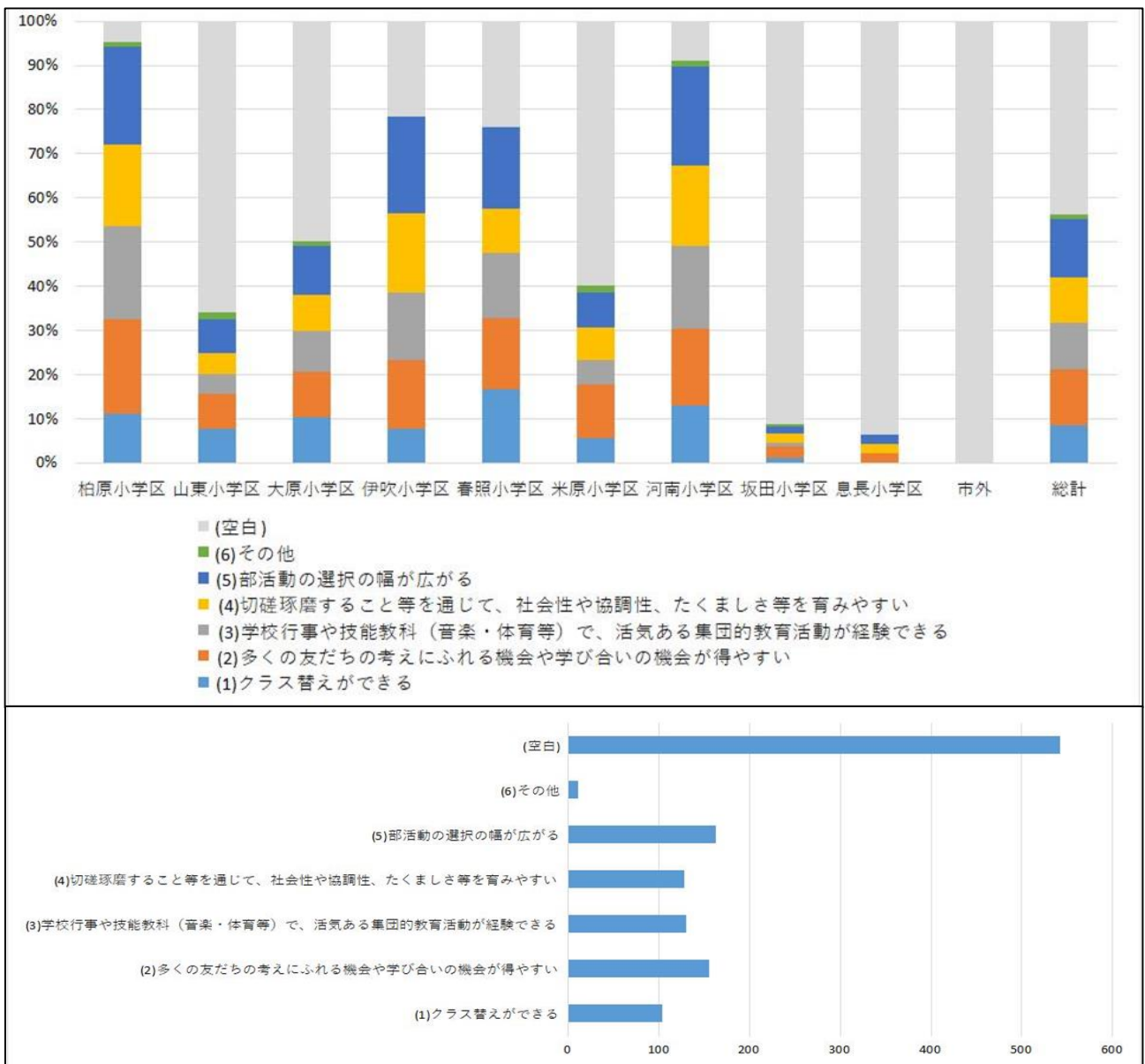


～住んでいる小学校区ごとに占める回答数の割合 上位3地区～

項目	1 位	2 位	3 位
(1)ちょうどよい	息長小学区73.9%	山東小学区66.7%	大原小学区60.9%
(2)もっと多いほうがよい	柏原小学区85.7%	河南小学区73.1%	伊吹小学区51.4%
(3)もっと少ないほうがよい	息長小学区10.9%	坂田小学区 5.6%	米原小学区 3.8%

問7【中学校について】

問6で「もっと多いほうがよい」と回答した方へ その理由は。 ※複数回答可



～その他の意見～

○学習環境について

- ・学業においても切磋琢磨し刺激を受ける機会が増える。
- ・少人数すぎて教員が少なく専門的な学習や色々な視点からの教育など行き届かないのではないかと心配。高校に行った時の環境の変化が大きすぎる。
- ・違う地域の文化・風習、生活の仕方や考え方を知ることができる。
- ・柏原中学校の少人数環境を活かした特色ある学び（自由進度学習など）の効果を高めるためには、学年20名程度は必要ではと思う。
- ・小学生では、人との距離感や付き合い方をまなび、中学では多様な選択肢に触れる事で、限定的ではなく視野を広くした思考になってもらえるのが良いのではないかとと思っている。

○人間関係について

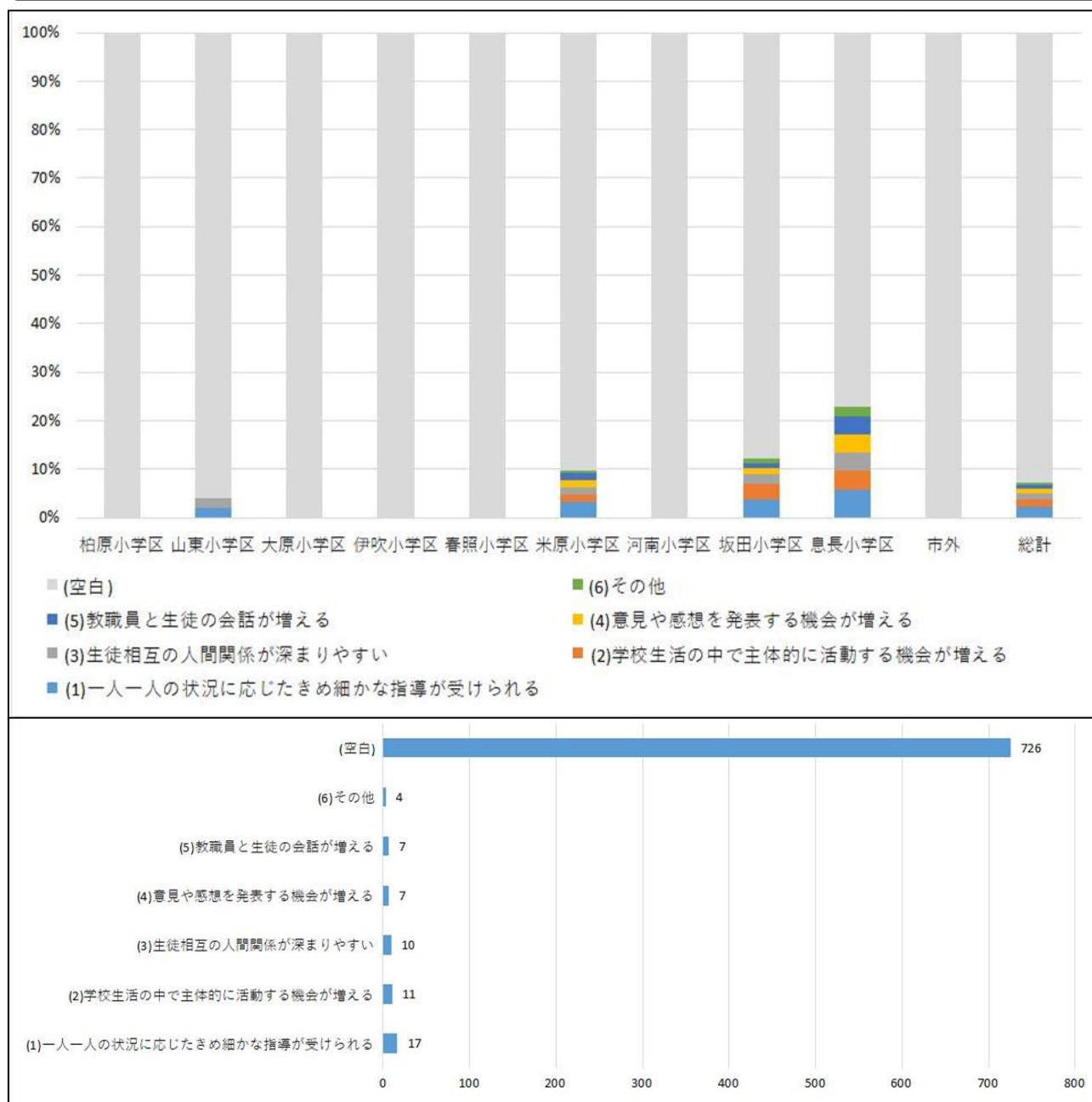
- ・善し悪しの判断基準低すぎる！もっと人間関係から学べる場が増えてほしい！！また、我慢してしまう子たちがしっかり守られる人間関係の構築ができる場や人数がほしい。
- ・多様な意見や価値観に触れる機会が限られる。トラブルが起きた時の逃げ場が少ない。
- ・思春期を過ごす中で逃げの選択肢の幅が広がる。

○その他

- ・高校で人数の多さに圧倒されない。
- ・小学校からそのまま持ち上がるため中学校は新たな小学校区が入る方が望ましい。

問8【中学校について】

問6で「もっと少ないほうがよい」と回答した方へ その理由は。 ※複数回答可



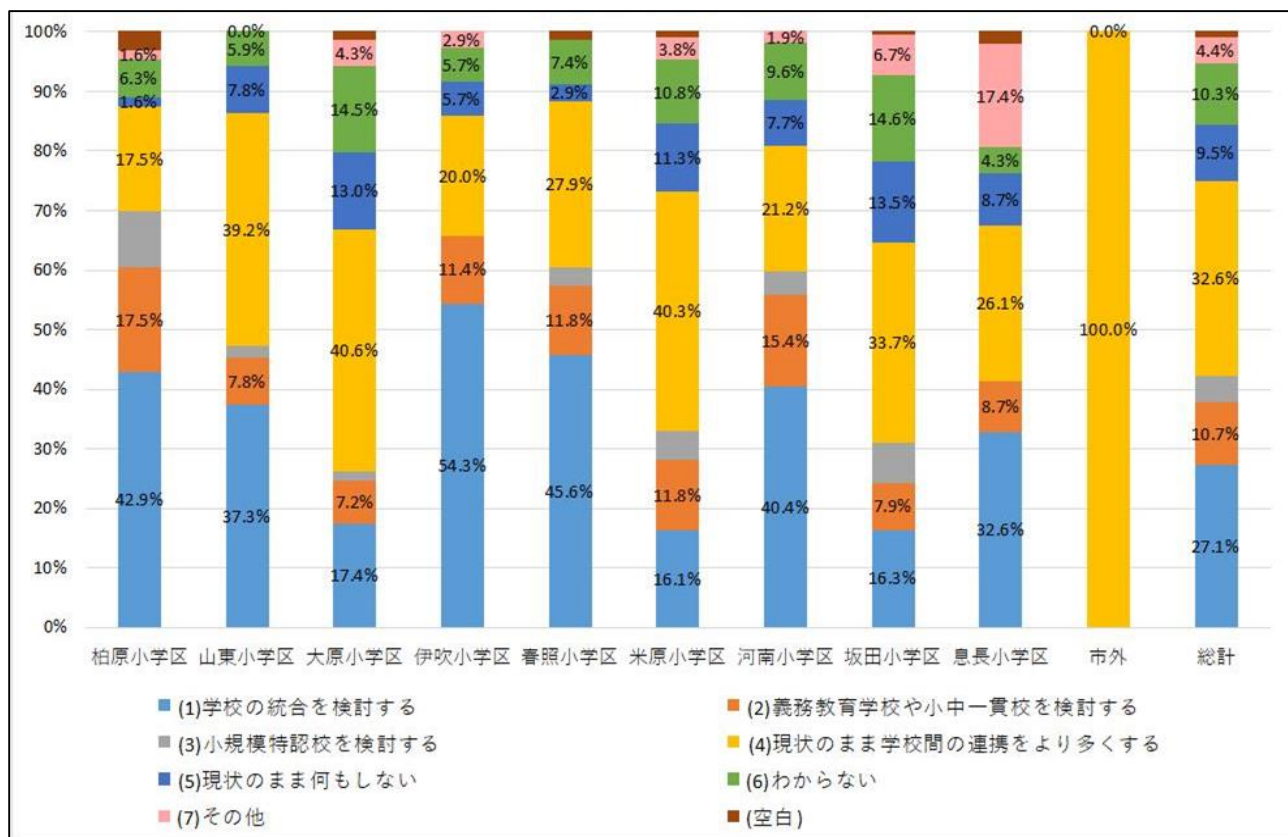
～その他の意見～

- ・トイレ更衣室の数が足りてない。
- ・他の中学校が少ないため、部活動が限られてしまう。
- ・大勢の人が苦手なため。
- ・チャンスなどが人数が少ないと得られる。

問9【小学校について】

お子様が通っている小学校において

さらに小規模化が進んだ場合、どのような対策をとることが望ましいと考えますか。



～住んでいる小学校区ごとに占める回答数の割合 上位3地区～

項目	1 位	2 位	3 位
(1)学校の統合を検討する	伊吹小学区 54.3%	春照小学区 45.6%	柏原小学区 42.9%
(2)義務教育学校や小中一貫校を検討する	柏原小学区 17.5%	河南小学区 15.4%	春照小学区 11.8% 米原小学区
(3)小規模特認校を検討する	柏原小学区 9.5%	坂田小学区 6.7%	米原小学区 4.8%
(4)現状のまま 学校間の連携をより多くする	大原小学区 40.6%	米原小学区 40.3%	山東小学区 39.2%
(5)現状のまま何もしない	坂田小学区 13.5%	大原小学区 13.0%	米原小学区 11.3%
(6)わからない	坂田小学区 14.6%	大原小学区 14.5%	米原小学区 10.8%
(7)その他	息長小学区 17.4%	坂田小学区 6.7%	大原小学区 4.3%

～その他の意見～

○統合する

- ・1クラス15人満たない学校は、他と統合する。
- ・回答としては、他の学校との統合を望みますが、できない場合でも、小規模のまま、オルタナティブ教育など特色ある教育は絶対望まない。
- ・再編。　　・現状で問題ないが、少子化に伴い統合も必要。

○学区の見直しを行う

- ・学区の偏りの緩和。　　・学区を調整。　　・学区の範囲見直し。
- ・学区の枠を均等にとは、言わないが、再検討する。　　・学区を広げる。　　・学区分けの変更。
- ・顔戸の一部を息長にするべき。　　・区分けの見直しを行う。
- ・顔戸の神郷に住んでいるのですが、坂田小学校まで遠いので、息長小学校もいいなと感じます。
- ・顔戸区を息長学区に入れて、息長小学校の人数を増やす、坂田小学校の人数を減らす。今後、宇賀野も住宅が増える予定なので、坂田小学校が増えてしまう。　　・校区を人数に合わせて調整する。
- ・息長小の学区を増やして、坂田小とのバランスを取る。
- ・単純に学校を統合するのではなく、適切な児童数となる学区にする。
- ・学区の子ども人口についてバランスのよい住宅団地の開発や、空き家補助を検討する。
- ・新しい顔戸の住宅地は息長学区に入れる。　　・学区の割合を検討してほしい。
- ・選択制をとりいれてほしい。1クラス36人は多すぎませんか？学区が決まっている為に、小規模校へ行けない。

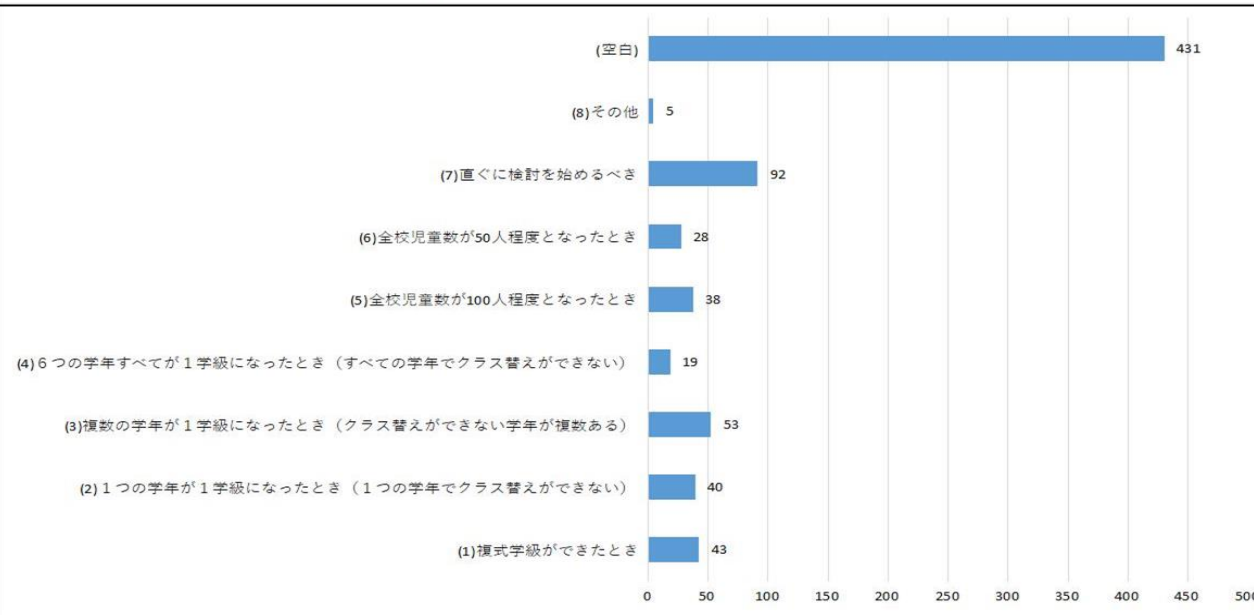
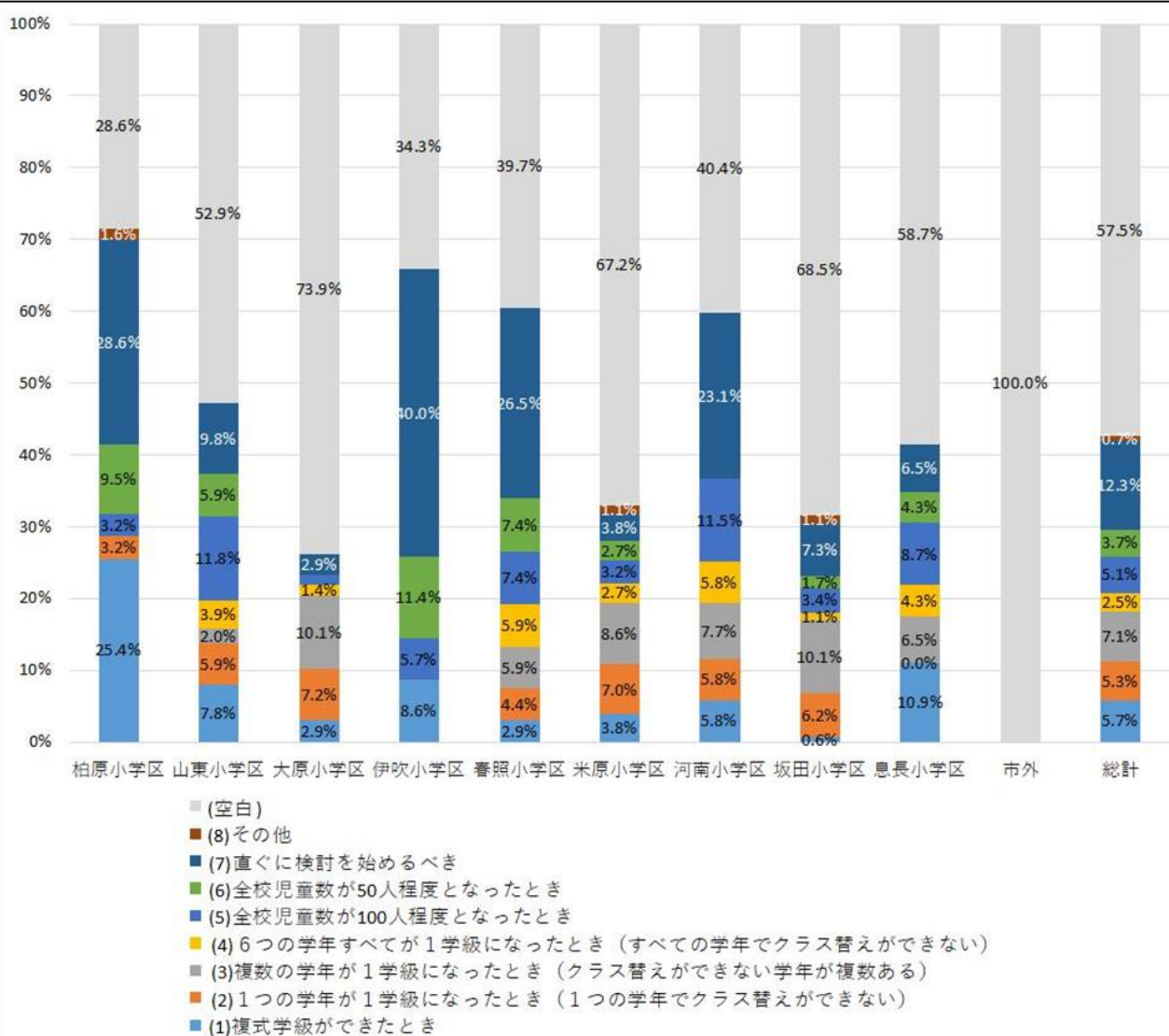
○ークラスの人数を減らす

- ・小学校の1クラスの人数を減らしクラスを増やしてほしい。
- ・1クラスの定員を減らす。

○その他

- ・子どもたちが高め合えるならどちらでもいい！　　・小中の連携を増やす。
- ・まだ通ってないので分からない。　　・小中高一貫国公立特別進学校を米原駅の周辺につくる。
- ・教師を増やす。人事に予算を増やす。
- ・単級の中でも極少人数になってしまっている学校の在り方を考えていきたい。
- ・少人数の学校を統合する事で登校時間が長くなる事が懸念されます。
- ・子どもの自殺率や不登校がなく、のびのび子どもが登校している学校の真似をしていただけるなら形はなんでも良いと思います。
- ・生徒数が増えた方が良くと思うものの、学校が現状よりも更に遠くなるのが目に見えているので保護者としては躊躇します。

問10【小学校について】問9で(1)～(3)を選択した方へ
検討を開始する目安として学校の規模はどの程度が適当か。



～住んでいる小学校区ごとに占める回答数の割合 上位3地区～

項目	1 位	2 位	3 位
(1)複式学級ができたとき	柏原小学区 25.4%	息長小学区 10.9%	伊吹小学区 8.6%
(2)1つの学年が1学級になったとき	大原小学区 7.2%	米原小学区 7.0%	坂田小学区 6.2%
(3)複数の学年が1学級になったとき	大原小学区 10.1% 坂田		米原小学区 8.6%
(4)6つの学年すべてが1学級になったとき	春照小学区 5.9%	河南小学区 5.8%	息長小学区 4.3%
(5)全校児童数が100人程度となったとき	山東小学区 11.8%	河南小学区 11.5%	息長小学区 8.7%
(6)全校児童数が50人程度となったとき	伊吹小学区 11.4%	柏原小学区 9.5%	春照小学区 7.4%
(7)直ぐに検討を始めるべき	伊吹小学区 40.0%	柏原小学区 28.6%	春照小学区 26.5%

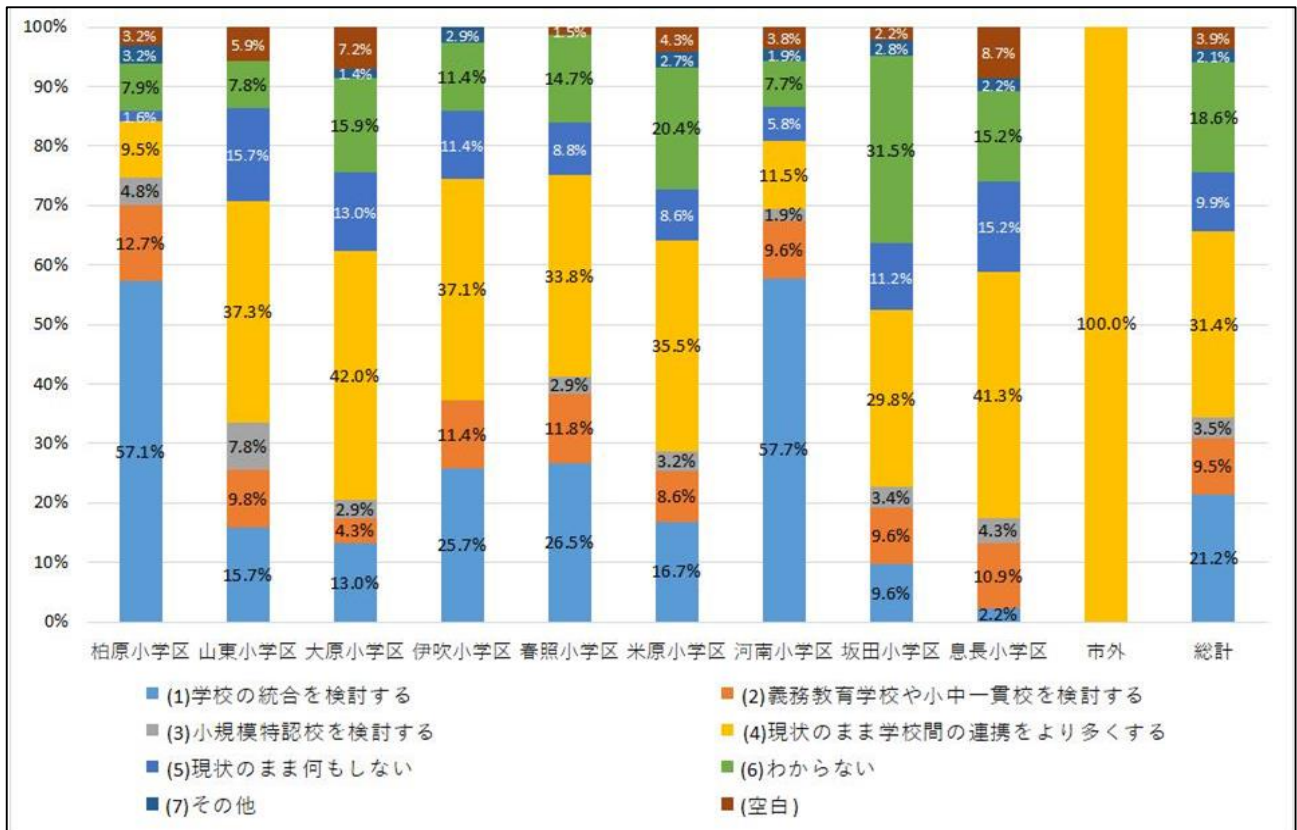
～その他の意見～

- ある年度で判断はしづらいです。6歳未満の人口や住居区分の計画等で違いも出てくるかと思います。短期・中長期的な見通しも資料としてあげていただきたいです。
- これから、子どもの数は減っていくため、今から検討を始めても良いと思います。
- 現在の学区の広さでも、子どもの通学負担は限界を超えていると思うので、これ以上の合併をよしとせず、小規模校と弾力的な学区の運用（容易に学校を替わることができるなど）で、通学の負担が今以上にならないようにするのが良いと思います。
- 現在の児童数が少なすぎとは思わない。「人数が少ないから仕方なく腹式や統合を検討する」のではなく、「先進的な取組みを始めるためには現在の人数が最適」「学びを深めるためには小中統合により多様性を高めることも一案」という考えを前提に検討をスタートしてほしい。そのためには現時点で検討をスタートする必要がある。自由進度学習やイエナプランなど、先進的な取組みを早急に進めることで、教育移住の希望者にも注目されると思う。

問11【中学校について】

お子様が通っている中学校において

さらに小規模化が進んだ場合、どのような対策をとることが望ましいと考えますか。



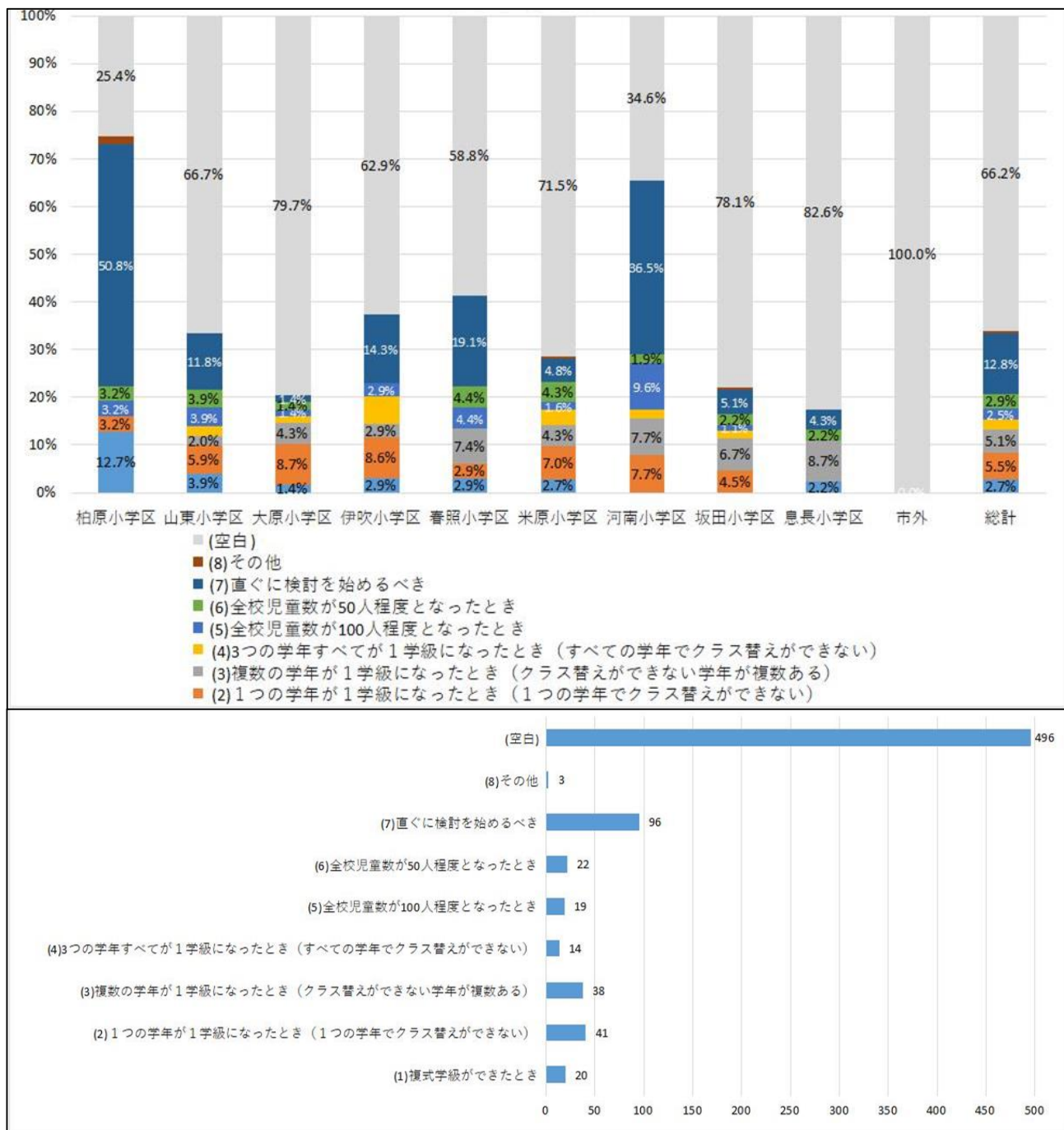
～住んでいる小学校区ごとに占める回答数の割合 上位3地区～

項目	1 位	2 位	3 位
(1)学校の統合を検討する	河南小学区 57.7%	柏原小学区 57.1%	春照小学区 26.5%
(2)義務教育学校や小中一貫校を検討する	柏原小学区 12.7%	春照小学区 11.8%	伊吹小学区 11.4%
(3)小規模特認校を検討する	山東小学区 7.8%	柏原小学区 4.8%	息長小学区 4.3%
(4)現状のまま 学校間の連携をより多くする	大原小学区 42.0%	息長小学区 41.3%	山東小学区 37.3%
(5)現状のまま何もしない	山東小学区 15.7%	息長小学区 15.2%	大原小学区 13.0%
(6)わからない	坂田小学区 31.5%	米原小学区 20.4%	大原小学区 15.9%
(7)その他	柏原小学区 3.2%	伊吹小学区 2.9%	坂田小学区 2.8%

～その他の意見～

- ・1クラスの定員を減らす。・現状回避できるなら、どれでも任せます！ ・中高一貫校にしてはどうか。
- ・学区の子ども人口についてバランスのよい住宅団地の開発や、空き家補助を検討する。
- ・高校の選択肢を増やしたい。広げたい。 ・小規模特認校または小中一貫校を検討する。
- ・小学校の場合の理由と同じです。生徒数は増えて欲しいですが学校が遠くなるのが不便です。
- ・小中の連携。 ・小中高一貫校の進学校をつくる。 ・地域によって、編成し人数調整。
- ・統合の場合バスなどの交通手段の確保を検討願います。 ・米原高校と中高一貫校にしてほしい。
- ・単純に学校を統合するのではなく、適切な児童数となる学区にする。

問12【中学校について】問11で(1)～(3)を選択した方へ
検討を開始する目安として学校の規模はどの程度が適当か。



～住んでいる小学校区ごとに占める回答数の割合 上位3地区～

項目	1 位	2 位	3 位
(1)複式学級ができたとき	柏原小学区 12.7%	山東小学区 3.9%	伊吹小学区 2.9% 春照
(2)1つの学年が1学級になったとき	大原小学区 8.7%	伊吹小学区 8.6%	河南小学区 7.7%
(3)複数の学年が1学級になったとき	息長小学区 8.7%	河南小学区 7.7%	春照小学区 7.4%
(4)6つの学年すべてが1学級になったとき	伊吹小学区 5.7%	米原小学区 3.2%	山東小学区 2.0%
(5)全校児童数が100人程度となったとき	河南小学区 9.6%	春照小学区 4.4%	山東小学区 3.9%
(6)全校児童数が50人程度となったとき	春照小学区 4.4%	米原小学区 4.3%	山東小学区 3.9%
(7)直ぐに検討を始めるべき	柏原小学区 50.8%	河南小学区 36.5%	春照小学区 19.1%

～その他の意見～

- 現在の学区の広さでも、子どもの通学負担は限界を超えていると思うので、これ以上の合併をよしとせず、小規模校と弾力的な学区の運用（容易に学校を替わることができるなど）で、通学の負担が今以上にならないようにするのが良いと思います。
- 柏原中学校の、少人数を活かした特色（自由進度学習など）を求める生徒は他の学区にも少なからずいると思う。他の学区からの小学生の入学も積極的に受け入れてはどうか。